

## 令和5年度 千歳市市民評価会議議事録

会議名	市民評価会議（第7回）		
日時	令和5年8月3日（木）14：00～16：30	場所	市役所本庁舎2階庁議室
出席者	市民評価委員 6名、アドバイザー 1名、事務局 3名		

会議概要	<p>今年度市民行政アセス対象となった10施策について、各委員から出された意見に基づき、事務局で評価報告書（案）として取りまとめ、市民評価会議に諮った。</p> <p>本会議において、評価報告書の加筆修正を行い、内容について全委員の承認を得た。</p>
------	--

### ヒアリング・評価内容

#### ◎評価報告書（案）全体の内容確認

##### 【委員A】

6ページの「(2) 評価全般に関する意見」について、①の2行目に「市内外にまちづくりの方向性を示す…」と記載されているが、ここで指す「市内外」とは、例えば消防本部の事業における広域連携の意味で「市内外」という言葉を使用しているのか。

##### 【アドバイザー】

総合計画自体は千歳市独自のものであるが、例えば、移住促進に関する事業など外向きの計画もあるため、「市内外」という言葉を使用している。

②については、「低炭素社会の形成の推進」の評価を行った際、市民が具体的に何をすればいいのか明確でなかったため、このような表現としている。

③については、担当課から既にいただいている回答として、「評価指標の見直し」と言葉も入っており、このことを後押しするため、このような表現としている。

④については、過去に評価した内容を把握していないまま事業を推進している担当課が多かったため、このような表現としている。

#### (1) 地域資源を生かしたツーリズムの創出、推進

##### ・評価結果「維持」

##### 【アドバイザー】

紋別市では、ハンドボールやマラソンなどの合宿誘致を積極的に取り組まれており、市の広報誌には合宿スケジュールに関する記載があり、市民と選手が交流する機会も設けられている。

##### 【委員A】

千歳市内にも数多くのマラソン選手が合宿で来ているが、どこの実業団の選手が来ているのかわからないため、広報誌を活用した周知をしていただきたい。日ハムの応援大使のような取組は大切であると考えている。

##### 【委員B】

千歳市では、紋別市のように広報誌に合宿情報を掲載したことはないのか。

##### 【事務局】

東京五輪前に実施した直前合宿の際には広報誌にも情報を掲載しているが、毎年、マラソン合宿で千歳市に来られている実業団については、内密に合宿に来ているチームもあり、我々として

も企業名を公表できない。

## (2) スポーツ施設の充実、活用

### ・評価結果「維持」

#### 【委員C】

「意見」の記載順について、「近年話題になっているボルダリングや…」の一文については、あくまで例示であるため、2番目の「千歳市への流入人口の獲得…」を先頭にし、この一文の中に含めた方が良い。

#### 【アドバイザー】

記載順番を入れ替えることとしたい。

## (3) 障がいのある人もない人も支え合う共生社会づくりの推進

### ・評価結果「維持」

#### 【アドバイザー】

「意見」の2番目について、成年後見制度の研修は社会福祉協議会に委託しており、「市職員が講師となって…」という一文とそぐわない部分もあり、関係機関と併せた数字が必要であるため、担当課と調整のうえ、このような表現としている。

「意見」の3番目や4番目については、ヒアリング当日に皆様からご指摘があった内容を記載している。

#### 【委員A】

「意見」の2番目について、冒頭に「本施策は関係機関と協働した推進が重要である」という一文を追加した方が分かりやすいのではないかと。

## (4) 障がいのある人が安心して暮らせる地域での支援体制づくりの推進

### ・評価結果「維持」

—記載内容については、異議なし—

## (5) いじめ・不登校等の対策の推進

### ・評価結果「維持」

#### 【委員C】

「意見」の4番目について、「第三者機関（公益通報窓口）」という表現はこのままで良いのか。

#### 【事務局】

担当課にも事前に確認をしており、この表現で了承いただいている。担当課としてはこちらの主旨は伝わっている。

#### 【委員C】

必要に応じて適切な表現にしていきたい。

#### 【アドバイザー】

第三者機関というのは、学校や教育委員会だけではないという部分が伝わっていれば良い。

#### 【委員C】

把握することの重要性、重症化する前に把握していただきたい。いじめについても、小さな芽のうちに見つけることが大事である。

**【事務局】**

「理由」の2番目、「社会状況が変化したとしても、いじめや不登校が全てなくなることは考えづらく」という一文について、この施策自体はいじめや不登校を根絶する取組として市では動いているため、この表現については修正させていただきたい。

**(6) 消防体制の充実強化**

**・評価結果「維持」**

**【委員C】**

「意見」の2番目、「今後も」という単語を削除し、「社会的な背景等により…」という言葉から書き始めて良いのではないかと。

「意見」の3番目は、ヒアリングで話を聞いていた人であれば理解できる内容だが、報告書だけを見た人に理解いただけるだろうか。我々が言いたいことは伝わるだろうか。

**【アドバイザー】**

評価表自体には算出根拠が記載されていないため、「事業費を基準に算出されているものであり」という部分で読み取れるものとする。

**【委員D】**

「理由」の2番目に「女性隊員向け」と記載されているが、「隊員向け」に修正した方が良いのではないかと。

**(7) 自衛隊との共存共栄によるまちづくり**

**・評価結果「維持」**

**【委員C】**

事業数が少ないため、施策名にふさわしい今後の事業展開を期待したい。

**【アドバイザー】**

第6期総合計画においては「自衛隊の共存共栄によるまちづくり」と「自衛隊に対する市民理解の促進」は、もともと1つの施策であったが、第7期総合計画では2つに分かれてしまった。事業数や評価指標が少ないので、新たな指標を取り入れていただけないと事業自体が見えてこない。

**(8) 自衛隊に対する市民理解の促進**

**・評価結果「維持」**

**【委員A】**

災害対応に関する指標もしくは施策があっても良いのではないかと。

**【事務局】**

災害対応については、別の施策で事業を実施している。

**【委員A】**

例えば、これまでも航空祭のあり方について、千歳市内の関係者や部隊関係者との会議を定期的に開催していたので、こうした内容を指標として前面に出しても良いのではないかと。

**【アドバイザー】**

日常的な市民と部隊との関係性を取り持っているという部分が評価されても良い。

**【委員A】**

昨年からは航空祭に併せてグリーンベルトでもイベントを開催しており、JALマラソンにおいても部隊の方に協力いただいているので、市内で開催されるイベントに部隊の方がどれくらい従

事しているのか、といった内容を数値化して指標にした方がPRにもつながると思う。

**【委員D】**

「意見」の3番目、「他課あるいは」という表現に違和感があるので、文章を一度区切った方が良い。

**(9) 低炭素社会の形成の推進**

**・評価結果「拡充」**

**【委員C】**

「意見」の5番目にある「本施策は他施策や他課と連携した取組によって効果を増すものであり、庁舎内の連携体制の構築が重要である」という一文は大きな話でもあるため、「意見」の2番目に持ってくるべきである。

**【委員A】**

施策・事務事業評価表の事中評価に記載されている「脱炭素化推進事業費」、「脱炭素社会構築事業費」、「支笏湖ゼロカーボンパーク推進事業費」について、令和6年度の予算がゼロとなっているが、これはなぜか。他施策については、たとえ予算化されていなくても令和5年度の予算額と同額が令和6年度にも掲載されている。方向性を「拡充」や「維持」としているのであれば、予算額を記載するべきである。記載内容については他施策と統一していただきたい。

**【事務局】**

これらの事業については、昨年度実施した事前評価の対象事業であり、事中評価を行った時点では、まだ事業として承認されていなかった。このため、担当課の要望として令和5年度の予算のみ記載している。今年5月に作成した事後評価の際には、令和6年度以降の予算額を反映している。

**【委員A】**

ECOちとせについては、10年前から数字の推移が全く変わっていないので、何もしていないように映って見える。

「意見」の3番目と4番目を入れ替えた方が良い。

**(10) 中心市街地のにぎわい促進**

**・評価結果「維持」**

**【委員A】**

先日のヒアリングで出た意見についての確認だが、中心市街地において1階が店舗で2階以上を住居にすることは、市として許可を出せるのか。

**【事務局】**

都市計画法に関する内容になるため、まちづくり推進課への確認が必要である。

**【アドバイザー】**

中心市街地のにぎわい促進以前にどう維持していくのかという視点が抜けている。

**【委員C】**

「意見」の5番目にある「事業の実施に当たっては、長期かつ持続可能な成果を得られるための取組が重要である。」という一文については、事業だけでなく、施策全体に言えることである。

中心市街地に設定されているエリアが経済的に循環していくための仕組みを作っていく必要があるため、こうした意見に修正した方が良いのではないかと。

**【委員A】**

担当課の説明を聞いていて、中心市街地といってもグリーンベルトにしか焦点が当たっていないような印象を受けた。中心市街地と位置付けられているすべての地域の賑わいづくりが必要で

はないか。

**【委員D】**

エリアマネジメントの考え方についての意見を追加した方が良いのではないか。